



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造
養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和6年3月22日) 第33号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

令和5年度修了式学校長式辞

「早いもので令和5年度が終わります。先日は、69名の3年生をこの学校から送り出しましたが、誠実で真面目な生徒が多く、かつ、行動力もある学年で、本当に素晴らしい生徒たちでした。私は、あの卒業式以来、実は、3年生がいなくなったという寂しい気持ちが続いています。しかし、今度はここに居る2年生や1年生に期待を寄せたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

令和5年度の八鹿青溪中学校を振り返ってみますと、やはり「飛躍の秋」「躍進の秋」と評した2学期が強く印象に残っています。

なんと言っても近畿大会準優勝に輝いた野球部をはじめ、多くの部活動が各種大会で好成績を残しました。中には勝つことが出来なかった部もありますが、今後の成長が大いに期待できる試合が出来たと聞いています。

また、文化面での成績も優秀で、理科の自由研究、読書感想文、書道、絵画、作文、詩、短詩系文学などの各種コンクールで優秀な成績を収めた人が多く出ました。さらに、日常の授業でも活発に意見交流する生徒が多くなったのが2学期でした。令和5年度の秋は八鹿青溪中学校にとって素晴らしい季節であったと私は思っています。

その「飛躍の秋」、「躍進の秋」を引っ張ったのは誰でしょうか。そうです、それは間違いなく2年生の生徒たちであり、今後、この学年の生徒がさらにどのような成長を遂げるか本当に楽しみです。

いっぽう、やや心配な面もないわけではありません。人間は、好成績を上げると、つまり、勝つことによって言葉や態度が横柄になってしまいがちという「弱さ」を持っています。昔から「勝って兜の緒を締めよ」という言葉がありますが、2年生の皆さんには「飛躍の秋」「躍進の秋」はもう過去のことでありというくらいの意識を持つことにより、新しい「飛躍」、「躍進」を期待することにします。それが、勝利者の責任であり、本当の「強さ」というものです。今一度、日常を見つめ直す時間を持ちましょう。

いっぽう、1年生の皆さんですが、この1年間で心も体も大きく成長し、実に中学生らしくなったものだと思います。毎朝、3階の教室まで皆さんの顔を見に行くようにしていますが、大きな声であいさつを返してくれる生徒が多くて感心しています。また、授業中もいきいきとした表情で学習に臨む生徒が多いと感じています。皆さんが「先輩」になるのはもうすぐです。約1年前に中学校へ入学してきた時のことをよく思い出



して、新入生に対して優しくアドバイスしてあげてください。新入生にとって、ひとつ上の先輩というのは、きっと長く記憶に残る存在になると思います。それくらい皆さんの責任は大きいのです。

さあ、令和5年度が終わります。妙見から吹き下ろす風も、円山川を流れる水も、新たな「飛躍」や「躍進」を予感させるぬくもり、そして光を私たちに届けてくれています。

令和5年度が終わります

令和5年度が終わります。年間を通じて、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザによる学級・学年閉鎖を一度もすることなく、生徒が比較的元気に過ごしてくれたことが大きな喜びです。

保護者の皆様におかれましては、常に八鹿青溪中学校諸教育活動への温かいご理解やご支援を頂戴し、心から感謝しております。

また、PTA 活動でもお力添えをいただきました。会長様とともにPTA 活動のスリム化を提唱してまいりましたが、次年度以降も無理のないPTA 活動を継続していただければと存じます。



令和5年度学校評価 ～学校HPをご覧ください～

令和5年度の終了にあたり、その総括をして、令和6年度の新たなスタートを切ろうと考えます。八鹿青溪中学校では、12月に実施した保護者、生徒アンケートを踏まえ、教員による学校評価を2月に実施しました。さらに、2月16日(金)には第3回学校運営協議会を開催し、授業参観、アンケート結果の提示に加えて、1年間の教育活動について画像で説明させていただき、委員の皆様による学校評価を依頼しました。そして、このたびその結果を「令和5年度学校評価」としてまとめましたのでご覧ください。学校HPに掲載します。



令和5年度養父市スポーツ賞

八鹿青溪中野球部・関宮学園野球の合同チームが令和5年度養父市スポーツを受賞しました。すでにお伝えしておりますように、昨秋の県大会・近畿大会で準優勝という快挙を達成したことに対する表彰です。右の写真は、3月5日(火)の授賞式の様子です。両校の代表生徒が広瀬市長より賞状と楯を頂きました。今後も頑張ってください。また、他の部も頑張ってください。



卒業生、全員進路決定！

3月19日(火)、公立高等学校一般入試(学力検査)の合格発表があり、八鹿青溪中学校から受検した50名の受検生全員が合格を果たしました。これで、すでに公立推薦・私立入試等で進路を決定していた19名の生徒とともに、卒業生69名全員が進路を決定することになりますが、公立推薦、私立入試、公立一般を通じてひとりの不合格者も出さずにこの春を迎えられたことに安堵しています。

あらためて、“どこに出しても恥ずかしくない、自慢の教え子であった”卒業生の前途を祝すとともに、在校生の今後の頑張りにも期待します。

